

女性が「好き」を仕事にするための ステップアップ講座

～自分を大切に作る人生・女性として360度ハッピーであるために必要なこと～

2018年 **10**月**19**日(金)

10:00～15:00 開場:9:30

八ヶ岳自然文化園 小研修室

長野県諏訪郡原村 原山17217-1613

大充実の内容で、あなたの活躍への道を後押しします。

- 自分の好きなこと、得意なことをいずれ仕事にしたいと思っている人
- 好きなこと、得意なことはあるけれど生活のために違う仕事をしている人
- 好きなことを仕事としてやり始めたが広がりに行き詰まりを感じている人
- 長年続けてきたことがあるけれど、仕事になるなんて思っていない人
- 自分が好きなことがわからなくなった人、自信が持てない人
- 自分には得意なものなんてないと思っている人

特別価格
3,000円
(先着30名)

第1部
10:00-12:30

女性が「好き」をオリジナルな仕事にするために必要な
「自分軸」を知る

講師:鷺尾(鈴木)早苗氏


第2部
13:15-14:15

女性に活用してほしい地域密着型クラウドファンディング

講師:長野県信用組合 竹内 三明氏

第3部
14:15-15:00

講師によるパネルディスカッション、Q&A

 講座内容・講師のプロフィールは裏面で紹介しています。

お問合せ・お申込み TEL 090-2753-9743 (担当:林) <https://yazipen-workshop.com/>

YAZIPEN DE WORKSHOP実行委員会

本イベントは、「長野県地域発元気づくり支援金」を活用して運用しております。

女性が「好き」を仕事にするためのステップアップ講座

講座内容&講師紹介

第1部

10:00-
12:30

女性が「好き」をオリジナルな仕事にするために必要な「自分軸」を知る



講師: 鷺尾(鈴木) 早苗氏

オフィス・ヴィタリテ代表

それぞれの人生を生きてきた女性が集まって、これからの人生を美しく開花させるための講座です。

仕事をしてきた人、子育てに邁進してきた人、お家の事情で外にでてこなかった人・・・人生経験は全て、仕事に変換できます。

生きてきた経験そのものが、世の中や大切な人、そして何よりも自分のために、これから活かすことができます。

今、自信がない人も「自信ってなんでしたっけ？」と数ヶ月後には笑えるようになります。

<講座内容>

- ・自分の才能、想いのありか、誰もが持っている、それぞれの天才性を知るためのワーク
- ・できること、したいこと、好きなことの違い
- ・営業いらず。ファンを作る
- ・「好き」を仕事にするための6ステップ
- ・お金と時間がかからないビューティーレッスン

鷺尾(鈴木) 早苗 プロフィール

オフィス・ヴィタリテ代表。欧州の高級ブランド数社のマーケティングを一手に担ったほか、30年を超えるブランディング・PRプロモーションの実績を持つ。2010年から「Love and Harmony」の屋号にて女性を中心に、その人の本質と「好き」を仕事に活かすパーソナル/ビジネス・コンサルテーションを行っており、すでに多くの女性が「好きを仕事に」する活動を開始。

衣食住、そしてメンタル面とトータルで整えていく内容の濃いコーチング&コンサルテーションは、特にキャリアを積んできた女性達に定評がある。

第2部

13:15-
14:15

女性に活用してほしい地域密着型クラウドファンディング

クラウドファンディング(Crowd Funding)とは、インターネット上にてプロジェクトを発表し、多くの人から少額の資金を調達する仕組みです。

クラウドファンディングを活用すれば、プロジェクト実現に向けての資金と、その思いに共感してくれるファンを同時に集めることができます。

新しいことにチャレンジしたい！

アイデアをかたちにしたい！

・・・そんな思いをお持ちの方に、本講座では、クラウドファンディングの仕組みから成功させるコツまで、事例を交えてわかりやすくお伝えします。



講師: 竹内 三明氏

長野県信用組合 執行役員 経営支援部長



イベントなどで大人気の「くらしまわり」の大畑典子さんのどうぶつ性不使用のお弁当を別途注文受け付けます。特別に講師の鷺尾(鈴木) 早苗さんが推奨する食べ方に対応した内容を予定しています(詳細はウェブにて)。ご希望の方は、お申込み時にお申し付けください。

お問合せ・お申込み TEL 090-2753-9743 (担当: 林) <https://yazipen-workshop.com/>

YAZIPEN DE WORKSHOP 実行委員会

本イベントは、「長野県地域発元気づくり支援金」を活用して運用しております。